平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ９６ ※記入不要	提案機関名	神奈川県果樹組合連合会

要望問題　ブドウ短梢剪定技術の確立

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

（背景）
大粒ブドウの新しい仕立として、H型など樹形が単純な短梢剪定技術が導入され始めている。

〈内容〉
仕立て法の確立を始め、剪定、新梢管理、結実安定、品質向上等の一連の栽培技術の確立を要望する。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所

部　　署：生物資源部

対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名
新栽培技術による低コスト・省力栽培技術の開発
（１）果樹の新しい仕立て方法による省力的栽培技術の開発
「藤稔」のH型、WH型短梢剪定における、安定生産技術の確立

対応の内容等
農総研では、上記の課題により平成１２年度から「藤稔」における剪定法、植調剤処理法等について、平成１５年度からは「安芸クイーン」の着色向上をねらいとする環状剥皮の試験に取り組んでおり、「藤稔」の裂果軽減、「安芸クイーン」の着色向上に対する一定の成果を得ています。また、「巨峰」「ピオーネ」等については、これまでの研究の中で応用できる情報等は随時、提供していきたいと考えます。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	